

【体験催しチーム】10月15日（日）WS報告

作成 亀若

日時	平成 29 年 10 月 15 日（日） 14:00 ~ 17:00	場所	市役所（本）7階
参加者	岩城、大谷、亀若、児玉、坂田、神徳、畠中、増田 ※アイウエオ順（敬称略）		

1、いちじく収穫体験催しについての若干の振り返り討議

※参加者アンケート結果は、次のような案件

- ・満足度 100%（「非常に」が 82%）、参加費（1500 円）満足度 100%。
- ・紀の川市以外の参加者 82%。

- (1) 生産者（仕掛人）にとってのメリット、デメリット
 - ・体験用に残した部分から一般出荷単価を上回る付加価値単価の享受
 - ・産地（仕掛方によっては当該園地）の PR…→ブランド化
 - ・一方、一連の収穫作業の中で、体験催し用に残して置き、処分する煩雑さ
- (2) 体験催し実施の意義
 - ・メルマガ等を通じての不断の情報発信の一つとなることによる、産地及び紀の川市の PR
 - ・生産者（仕掛人）に対するより良い仕掛け方ノウハウの伝授
 - ・他の地域、他（別の果物も含めて）の生産者への波及
- (3) 課題
 - ・生産者（仕掛人）の主体性（自立性、継続性）を引出す方法
 - ・体験催しチーム、特に前田氏の負担
 - ・当日の状況として、熱中症や蜂等への配慮

2、平成 30 年 1 月までの体験催し案件の具体化

※（ ）番号は、配布資料による

「(3) つながるピンクリボン」

—フルーツのだて茶会— →メルマガ 10/6 配信

日 時: 10 月 22 日（日） 11:00~14:00

場 所: 道の駅 青洲の里 虹色市場の一角（紀の川市西野山 473）

⇒悪天候のため全体が中止

「(4) おばあちゃん家でまったり」…→10/6 メルマガ配信→チラシあり

日 時: 10月29日(日) 10:00~14:00頃
場 所: 花彩(はないろ)(紀の川市北勢田983)
募集人数: 10名(最少催行人数5名)
参加費: 3000円
⇒参加人数不足につき10月29日案は中止
⇒再度11月19日(日)実施予定(同一内容で)

「(5) 今年もやります! キウイ収穫体験」→チラシあり

日 時: 11月23日(木 祝) 13:00~17:00
場 所: マルキ柑橘キウイ畑(新竜門橋南詰(紀の川市荒見508付近))
・派遣要請は、料理・商品開発チームから1名派遣
⇒告知と同時に募集人員に達し、資料通り実施予定

「(6) 百合山ウオークラリー+フルーツ輪投げ&綿あめ試食」

—フルーツ輪投げ&綿あめ試食 →11/2 ルマガ配信予定(締切10/30)

日 時: 11月25日(土)
場 所: 竹房橋周辺
参加費: 無料。ただし綿あめは100円として販売
スタッフ: 5名派遣(百合山の自然と遺跡を生かす会会長榎本氏から文書で協力依頼あり)
・メルマガ原稿は、百合山ウオークラリーとして提出願う

「(7) ハッサクポン酢作り」

日 時: 12月4日(月) 13:00~2時間程度
場 所: こかわや(紀の川市井田35-1)
募集人数: 5名(最少催行人数:2名)
参加費: 2000円
駐車場: 4台分スペース有
運営パターン: 仕掛人

「(8) 薪割りと蕎麦の刈取り体験」

日 時：12月10日（日） 9:00～12:00

場 所：野かふえおりや（紀の川市桃山町神田 244）

募集人数：15名（最少催行人数5名）

参加費：大人1500円、子供（小学生1000円）

運営パターン：スタッフ2名派遣

- ・樫の木の薪割り、蕎麦の収穫とはざがけ
- ・ダッチオーブンで焼き芋、おいしく食べてお茶する

「(9) フルーツかるた大会」

日 時：2月4日（日）

場 所：紀の川市民体育館（紀の川市花野 604-2）

募集人数：（参考 制限なし ふる博開催時）

参加費：（参考 無料 ふる博開催時）

スタッフ：体験催しチーム5名のほか、他のチームからの協力も必要

- ・前年の実施要領を確保。次回以降のWSで検討
- ・1月の予定日、いずれも会場先に予約済み。2月4日で仮予約

課 題：1、保険料等を考慮し入場料（100円程度）を課すか（去年は無料）
2、景品等への経費支出の目途（体験催しチームの予算の活用等）

3、平成30年2月の体験催しの柱建

○竹細工とフルーツ羊かん

（参考 3/30 10組 1000円 野かふえおりや ふる博開催時）

- ・具体案提出要請中

○フルーツツリー・リユース盆栽アート（仮称）

- ・具体案提出要請中

4、その他の検討課題

1、平成30年ふる博2/ふるフェス時の体験催しチームとしてのフルーツのだて茶会
・白紙に戻すことに

2、催しの周知方法について

- ・引き続き検討することに
- ・力点の置き方や更なる手法（口コミ、報道機関、無料マガジンなど）を検討していくこととする。